



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2017-2018年度 第9週報 No. 1992 2017年(平成29年) 9月8日 第1992回 例会記録 9月15日発行

本日〈9月15日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「それでこそロータリー」「友達になろう」
- ◆ 献 立 中華御膳
- ◆ 卓 話 「プロの世界で成功するには」
 野球解説者 鈴木 尚広 様
 (紹介者 佐藤 勝彦 会員)

<< 本日のBGM >>
 アルバム「大人ピアノカフェ」/ 村上ゆき より



PHOTO クラブ会報委員会

司 会 金森 欣一 副幹事

誕生日祝 田邊 正彦 会員 (9月9日)
 飯田 泰之 会員 (9月11日)

点 鐘 矢野 修二 会長

斉 唱 「我等の生業」「友達になろう」
 ソングリーダー：加野 亮一 会員

四つのテスト 赤堀 和人 職業奉仕委員長
 (第1例会のみ)



ゲスト紹介 佐藤 亮 様 (ゲストスピーカー)

ビジター紹介 横浜北RC 森田 倅弘 様

2017-2018年度 RI 会長 イアン H.S. ライズリー



ロータリー：
 変化をもたらす

第2590地区 ガバナー 湯川 孝則

会 長	矢野 修二	会 計	白井 康夫
会長エレクト	天野 公史	副 会 計	飯田 泰之
副 会 長	田中 龍太郎	S A A	茂木 知子
副 会 長	河野 明光	副 S A A	加藤 仁昭
幹 事	白鳥 厚夫	副 S A A	森 永 健
副 幹 事	金森 欣一	クラブ会報	長井 章

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
 TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

会長報告

矢野 修二 会長

- ・米山記念奨学会より米山功労者の感謝状が届いておりますので贈呈します。



中野真理会員(1回)、金森欣一会員(2回)、植田清司会員(3回)、朝日達夫会員(3回)、長井 章会員(3回)、飯田泰之会員(4回)、茂木知子会員(4回)、田邊正彦会員(11回)、矢野修二会員(13回)

幹事報告

白鳥 厚夫 幹事

- ・本日、例会終了後に9月度定例理事会を開催致します。
場所 3F ナイト
- ・タウンニュース9月7日(木)号に8月30日の神奈川区シニアクラブ大会の記事が掲載されておりますので回覧します。
- ・9月22日ガバナー補佐公式訪問の際、例会終了後にガバナー補佐より戦略計画について5~10分お話があります。例会終了後のクラブ協議会への大勢のご出席よろしくお祈り致します。

◎例会変更のお知らせ

*横浜北ロータリークラブ

10月17日(火) 夜間例会
10月31日(火) 休会

出席報告

山田 正憲 出席委員長

会員総数	51名	(33+18)名	
出席会員数	42名	(28+14)名	
出席率	89.36%		
ゲスト	1名	ビジター	1名
前回補正後	89.13%	前々回補正後	91.49%

スマイルボックス

加藤 仁昭 副SAA

横浜北RC 森田倅弘様 本日はお世話になります。

田邊正彦君 ①誕生日祝い、ありがとうございます。②横浜北クラブの森田様、ようこそおいで下さいました。

飯田泰之君 誕生日祝い、ありがとうございます。妻との会話で一句、“我先に ボケるが勝ちと 情けなや”。

矢野修二君 ①昨日の第3テーブルミーティング、マスター角田さん、副マスター伊東さん、ありがとうございます。②佐藤亮様、本日の卓話楽しみにしております。よろしくお祈り致します。

吉田隆男君 ①角田さん、伊東さん、昨日は有意義なテーブルミーティング、ありがとうございます。

月山 勇君 私の所属する横浜市管工事協同組合の80周年記念事業の一環として「設備博・生活環境の祭典」を開催します。先週、ボックス内に案内チラシ及びご招待券を入れさせていただきました。日頃の水道事業へのご理解に感謝を込め、一般市民にも入場無料と致しました。お楽しみステージ、抽選会等々老若男女お楽しみ満載の企画の展示会です。ご家族お誘いあわせの上ご来場の程、よろしくお祈り致します。お待ち申し上げております。

江森国一君 ①昨日の第3テーブルミーティングでは、マスターの角田さん、副マスターの伊東さん、お世話になりました。②本日の直前会長・幹事慰労会、出席よろしくお祈り致します。

山田正憲君 角田テーブルマスター、昨日は楽しいミーティングをありがとうございました。

植田清司君 山本登先生、先日は大変お世話になりました。

白鳥厚夫君 ①昨夜の第3テーブルミーティングの角田リーダー、伊東サブリーダー、美味しいお魚ありがとうございます。②佐藤亮様、卓話楽しみにしています。

横溝 亘君 角田テーブルマスター、伊東副マスター、昨日はとても楽しいテーブルミーティングでした。お疲れ様!!

古澤一憲君 佐藤様、本日の卓話、大変楽しみにしています。
馬場佳子さん 娘の就職が決まりました。ありがとうございます。

9月8日	13件	37,000円
本年度累計		332,180円

「神奈川の水道」

神奈川県内広域水道企業団技術部水運用センター 副所長
佐藤 亮 様
(紹介者 古澤 一憲 会員)



1. 水道の歴史

「水道」といえば「蛇口をひねれば水が出てくる」というイメージを持っていると思います。現在、我々が使っている水道は「近代水道」と呼ばれ、明治18年横浜が発祥と言われています。近代水道とは「外部から汚染されないように鉄管などの閉じた導管を使い、ろ過・消毒などを行った人の飲用に適する水を、圧力をかけて広い範囲に常に供給する施設」とされています。

横浜で近代水道が必要だった理由は2つ考えられます。明治時代になり江戸時代から続いていた鎖国が終わり、横浜港が開港されて以降に横浜の人口は急激に増加します。そのため、たくさんの水が必要になったのが1つの理由です。当時は井戸を掘って飲料水を得ていましたが、井戸だけでは足りないこと、また横浜は埋め立てられた地域で、井戸水には塩分が含まれていて飲料水には適していませんでした。もう1つの理由は、開港により外国人が増え、コレラ・チフスなど水を介して感染する疫病が流行し衛生的な水が求められたためです。

横浜で発祥した近代水道は公衆衛生の向上を目的の一つに、自治体が管理する事業として、今日まで常に安全な水道水をお届けするため発展を続けてきました。

2. かながわの水源

水道水として利用するための水を蓄えている代表的なダムは、相模ダム（相模湖）、城山ダム（津久井湖）、宮ヶ瀬ダム（宮ヶ瀬湖）、道志ダム（奥相模湖）、三保ダム（丹沢湖）の5つです。相模ダム、城山ダム、宮ヶ瀬ダム、道志ダムは相模川に、三保ダムは酒匂川に水を流し、水道事業者が河川から水を取り水して水道水を作り、皆様のご家庭にお届けしています。中でも平成13年に完成した宮ヶ瀬ダムはこれらの中で一番大きく、最大で1億8千万立方メートルの水を貯水することができます。神奈川県で使用する水は1日に約300万立方メートルですので、およそ60日分に相当します。

3. 水道水ができるまで

河川から取水された水は、ポンプによって浄水場に送られます。浄水場では河川の水の中にあるゴミや微生物を取り除き（凝集・沈でん）、砂でろ過してきれいになった水を塩素で消毒してからご家庭にお届けしています。

神奈川県には、神奈川県営水道、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局と、これら4団体に水道用水を供給している神奈川県内広域水道企業団の5つの大きな水道事業者があり、県内の約8割の地域に水道水をお届けしています。

4. 水道水の安全性

水道水は「カルキくさい」というイメージを持っていませんか？これは水道水に含まれている塩素が原因とされています。水道法では給水栓（蛇口）で残留塩素濃度が0.1mg/L（1リットルに0.1ミリグラムの塩素が添加されている状態）以上あることが定められています。県内の水道事業者は安全でおいしい水を届けるため、水道法を守りながら、残留塩素濃度を少なくする努力をしています。

また、飲料水として適していることを確認するため残留塩素や濁度など51の項目について厚生労働省は水質基準を定めています。

水道事業者はこの基準がクリアできるように水道水の品質管理を確実にを行っています。皆さんには安全な水道水を安心して使って貰えば、水道に携わる者としてやりがいを感じます。

【参考文献等】

日本水道協会HP、横浜市水道局HP、厚生労働省HP

直前会長・直前幹事慰労会 開催

平成29年9月8日（金）、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにて、直前会長・直前幹事慰労会が開催されました。

植田清司直前会長、小山市康直前幹事、一年間ご苦勞様でした。





クラブニュース

大橋会員の愛弟子 井上尚弥さんが9月10日アメリカで、世界チャンピオン6度目の防衛に成功。おめでとうございます。



我が街「神奈川」散策（第4回）

クラブ会報委員会

■笠のぎ稲荷神社（「のぎ」の字はのぎへんに皇）

良泉寺から、京浜急行のガード下をくぐり抜けると、笠のぎ稲荷神社があります。この神社の名前の由来は、笠をかぶった人がこの前を通ると、不思議に笠が脱げ落ちたことから笠脱稲荷と呼ばれるようになり、その後笠のぎ稲荷神社に改めたとされています。境内には「子宝安産大楠」「夫婦和合大銀杏」の大木があります。

次回〈9月22日〉の予定

テーマ 「消防職員の自助のカタチ」

横浜市神奈川消防署長 武笠 基和 様

（紹介者 古澤 一憲 会員）